

尊敬する 岡部 秀夫先生へ

こんにちは！私たちは遠く離れていても、心はいつも通じ合い、お互いのことを気にかけていることでしょう。心から言わせてください。『我が友に会いたい！』。時が流れても貴国で過ごした日々を今でも忘れることはできません。記念写真を撮ったとき、フラッシュが光った瞬間、私たちと学生の姿が写真に残ると同時に心の中にも刻まれたのです。いつの間にか何年もの月日が過ぎ、再会することを心待ちにしています。

今年は特別な年であり、世界204ヶ国の人々が中国に集まり、北京オリンピックに参加することになります。私たち中国の国民は最も熱烈な気持ちで貴賓様の到来を歓迎します。これで中国国民の百年の夢も叶うことでしょう。

岡部先生、中国のオリンピックの盛況を見に来ませんか？夏休みになってすぐ手紙を書くつもりでしたが、休みの初日である7月12日に病気になり、点滴や注射をしていました。今頃になりペンをとって手紙を書いているなど、礼儀に欠ける始末で本当に申し訳ございません。お許し下さい。

今年の5月12日の四川大震災の時、貴国の救助隊が一番早く駆けつけ、救助の手を差し伸べてくれ、奇跡を起こしたことを心から感謝しています。大きい災難に大きな愛あり。ここで私たち中国国民の代表として、我が国に対する貴国の大きな愛に感謝します。

私の学校では5月16日に先生と生徒たちが寄付活動を行い、人民元60102.8元を寄付し、共産党の先生たちは特別党費プラス1ヶ月分の給料を寄付しました。お金は限りがありますが、援助活動はかけがえのないものです。そして学校では被災地域の学生二人を受け入れて勉強させ、皆親切に世話をし、二人は落ち着いて楽しい毎日を過ごしています。現在、全国の国民と被災地域の人々は心と心が通じ合い、各方面からの援助やその行動は、数値や言葉では表すことはできません。国境なきたくさんの方々の援助により、四川の人々はもっと強くなり、きっとショックと悲しみから立ち直ることでしょう。

私の学校では小さな変化があり、今夏休み中にグラウンドを改造しています。費用は人民元で60万円ぐらいです。トラックだけを競技場で使用される軟らかい素材に作り直して、真中の大半はセメントのままですが、そのうち余裕ができれば全部改造するつもりです。

岡部先生、日本との距離は遥かに遠いですが、友情は深くて近い。ここで私たちの友情が永く続くことを心から祈っています。

祝、岡部秀夫先生が健康であり、幸せであり、全てのことがうまくいきますように…

中国の友人 陳雪蘭（臨海師範付属小学校教師）

2008年7月29日